

～めざそう 災害に強い土岐川・庄内川～

平成27年10月27日
国土交通省中部地方整備局
庄内川河川事務所
多治見砂防国道事務所

僕らの学区の浸水被害を忘れない！

～多治見市内の小学生が災害対策設備の操作を体験～

国土交通省では、衛星通信車、衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT）、照明車、排水ポンプ車などの災害対策設備を保有しており、庄内川河川事務所及び多治見砂防国道事務所では、多治見市内の小学生に災害対策設備の操作を体験する学習を実施します。平成23年9月の多治見市内浸水被害や本年9月の鬼怒川浸水被害などの災害現場で活動する設備について実際に触れて防災について学び、降雨体験機・土石流実験用模型も利用することで災害への関心をより高めてもらいます。

1. 日 時・場所 ①平成27年11月4日（水） 10時40分～12時10分
多治見市立精華小学校 運動場（多治見市十九田町2丁目）
②平成27年11月5日（木） 10時40分～11時25分
多治見市立昭和小学校 運動場（多治見市平和町4丁目）
③平成27年11月5日（木） 14時15分～15時00分
多治見市立脇之島小学校 運動場（多治見市脇之島町7丁目）
④平成27年11月26日（木） 10時45分～11時30分
多治見市立池田小学校 運動場（多治見市池田町6丁目）
※雨天決行、荒天中止

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、多治見市政記者クラブ
※取材について 現地取材を希望される報道機関におかれましては、FAXにて
11月2日（火）12時迄に 別紙2「取材登録書」を、
提出をお願いします。

【問い合わせ先】

庄内川河川事務所 副所長 瀬古 眞一
管理課 保全対策官 河崎 祐次
電話 (052) 914-6714
FAX (052) 914-6784
多治見砂防国道事務所 妻木出張所 出張所長 小幡 豊
電話 (0572) 57-6213
FAX (0572) 57-6679

3. 内 容

災害対策設備の操作体験

①衛星通信車・Ku-SAT、排水ポンプ車、照明車、
降雨体験機、土石流実験用模型

②衛星通信車・Ku-SAT、排水ポンプ車、照明車、降雨体験機

③衛星通信車・Ku-SAT、排水ポンプ車、照明車、降雨体験機

④衛星通信車・Ku-SAT、排水ポンプ車、照明車、
降雨体験機、土石流実験用模型

※各設備の概要については、別紙3に記載

4. 参加予定者

①精華小学校4年生 約122名

②昭和小学校6年生 約54名

③脇之島小学校5年生 約31名

④池田小学校6年生 約49名

中部地方整備局庄内川河川事務所では、度重なる水害にあつてきた地域の小学生に災害への関心を高めてもらうことを目的として、昨年に引き続き本年度も、国土交通省中部地方整備局が保有する災害対策設備(衛星通信車、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)、照明車、排水ポンプ車、土石流実験用模型)の操作訓練体験学習を実施。

○各小学校の工程

	日時	場所	参加者
①	平成26年11月13日	脇之島小学校	小学校5年生42名 6年生28名
②	平成26年11月20日	昭和小学校	小学校6年生50名
③	平成26年11月28日	池田小学校	小学校6年生54名
④	平成26年12月25日	精華小学校	小学校4年生133名

○各機関との調整・工夫

- ・企画部情報通信技術課及び多治見砂防国道事務所と、庄内川河川事務所との連携した活動。
- ・各マスコミへの投げ込み、及び直接馴染みの報道機関へ電話し、テレビ(中京テレビ、おりべネットワーク)及び新聞(中日新聞、建通新聞)で広く地域住民等へPRできた。
- ・各小学校に足を運び、被災した地区で昨年同様、本体験学習が行えるよう調整を行った。また今後も定例化できるよう多治見市教育委員会と打合わせし、校長会で提案して頂けるよう働きかける。
- ・12月25日には古川多治見市長も参加頂き母校の小学生に分かりやすく説明して頂いた。

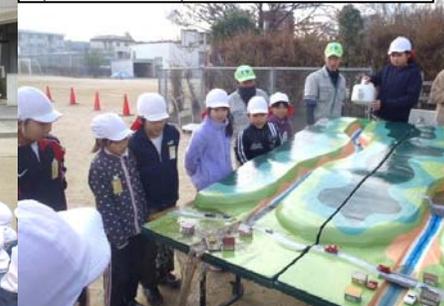
○参加生徒の感想(抜粋)

- ・今日見た機器が災害時にとっても役立つことを知り凄と思った。
- ・このような体験をして色々な事が分かり実に良かった。
- ・この機器のおかげで今でも平和にいらさせていると思います。
- ・今回学んだ事以外にももっと災害対策設備のことを調べてみたい。
- ・僕たちの町・命を守って下さっていてありがとうございます。
- ・このような活動を全国に広げて行って欲しい。

全体の風景④
多治見市長による説明



土石流実験用模型の説明④
(多治見砂防)



排水ポンプ車の説明②
(庄内川河川)



Ku-SATの説明②
(庄内川河川)



照明車の説明③
(庄内川河川)



衛星通信車の説明③
(企画部情報通信技術課)



平成 27 年 10 月 27 日
庄内川河川事務所

災害対策設備の操作を小学生が体験 取材登録書

11月4日(水)・11月5日(木)及び11月26日(木)開催 多治見市内の
小学生が災害対策設備の操作を体験 の取材をご希望される報道機関におかれまして
は、事前にご登録をお願い致します。

FAX 送信期限 : 11月2日(火) 12時00分 まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者等
(1) ご氏名 _____

(2) 連絡先 TEL _____

(3) 取材人数 _____ 人

3. 取材希望校 (希望小学校を「O」で囲って下さい)

① 11月4日 精華小学校

② 11月5日 昭和小学校

③ 11月5日 脇之島小学校

④ 11月26日 池田小学校

4. 送信先 (FAX) 052 - 914 - 6784

5. 問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所
副所長 瀬古 眞一
管理課 保全対策官 河崎 祐次
電話 (052) 914-6714

災害対策設備等の概要

◎庄内川河川事務所では出水等による、災害に備えて災害対策車を配備しています。地方公共団体からの依頼に基づき、保有する災害対策用機械を派遣するなど災害支援を行っています。また水防訓練やイベントなどへの参加依頼も承っております。また、今回は多治見砂防国道事務所が保有する設備も併せて体験して頂きます。



『平成27年9月関東・東北豪雨』鬼怒川決壊に伴う浸水箇所での活動中の排水ポンプ車及び照

照明車（10m級）×1台

◎災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します。

■特徴

- ・地上から約10mの高さを照らすことができます。
- ・50m先で、新聞が読める程度の明るさがあります。
- ・電源供給車としても使用できます。

■仕様

車体：8tトラックベース プーム高さ：10m
 運転免許：中型自動車免許
 乗車定員：3名 使用燃料：軽油(70L)
 連続照明時間：約20時間（給油1回分）

■主要装備品

電源設備：ディーゼル発動発電機（220V 60Hz 25KVA） 1台
 照明装置：メタルハイドランプ2kW 6灯



排水ポンプ車（30t級）×1台

◎浸水被害を排水ポンプで軽減します。

■特徴

- ・1秒間にドラム缶約2、5本分の水を排出できます。
- ・通常は、10mの高さまで水を汲み上げることができます。
- ・排水ポンプの設置は人力で行います。

■仕様

車体：8tトラックベース
 運転免許：普通自動車免許（8t限定） 乗車定員：2名
 使用燃料：軽油（容量250L：発動発電機用）
 総排水量：30m³/min 連続排水時間：約48時間

■主要装備品

電源設備：ディーゼル発動発電機（440V 60Hz 125KVA） 1台
 ポンプ設備：水中ポンプ（口径200mm） 重さ約50kg/台 4台
 その他：補助照明装置（500w×2灯、バルブ投射器×1灯）



衛星通信車×1台 Ku-SAT×1台

◎災害現場の映像・音声を本部に届け復旧活動を支援します。

■特徴

- ・被災状況の正確な把握のため、災害に強い通信衛星を利用し映像・音声などで情報共有を行う
- ・日本国内のほぼ全ての場所で通信できます。
- ・電源供給車としても使用できます。

■仕様

車体：全長6.37×全幅2.1×全高3.04m
 運転免許：中型自動車免許
 乗車定員：5名 使用燃料：軽油(100L)
 連続使用時間：約24時間（給油1回分）

■主要装備品

電源設備：ディーゼル発動発電機（100V 60Hz 7KVA） 1台
 アンテナ装置：650×500mm程度
 衛星通信装置：25W SSPA
 画像符号化装置：画像送受信各1回線 H.264



衛星通信車



土石流実験用模型

■特徴

- ・砂防堰堤がある場合ない場合について、模擬的に土石流を発生させ、砂防堰堤の動きを説明します。



降雨体験機

■特徴

- ・時間雨量20mm、50mm、120mm等の雨をふらすことができます。雨の降り方を体感し、避難の心がけを学習します。



国土交通省

庄内川河川事務所